




# 楡原チャレンジ! 一歩前へ

下郷町立楡原小学校  
学校だより No.45  
令和3年 2月 5日  
文責:校長 酒井 健

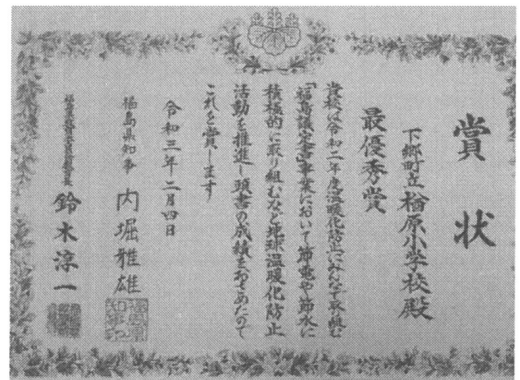
## ◇「福島議定書」表彰式に出席してまいりました

昨日4日(木)、福島市の自治会館で行われた「福島議定書表彰式」に出席してまいりました。事業所と学校の合わせて17団体が表彰を受けました。楡原小学校は、学校の部において、最優秀賞をいただくことができました。小学校では、最優秀賞はたった2校・・・大変名誉ある受賞でありました。学校の部の最優秀賞は、次の通りです。

最優秀賞	【幼稚園】	須賀川市立白方こども園	
	【小学校】	下郷町立楡原小学校 喜多方市立第三小学校	
	【中学校】	郡山市立片平中学校	
	【特別支援学校】	福島県立聴覚支援学校	

表彰式では、内堀雅雄福島県知事からのご挨拶があり、賞状は、鈴木淳一福島県教育委員会教育長からいただきました。温暖化防止のためには、何か特別な仕組みを開発することではなく、常日頃の小さな「行い」の積み重ねであると考えています。楡原小学校では、節水・節電・リサイクル・環境保全活動・環境学習など、日々の生活の中で様々な活動を行い、それが二酸化炭素削減につながっています。

これは、学校だけでは決してできません。ご家庭、地域のご協力、ご支援があって初めて成立するものであると思います。本当にありがとうございました。



## ◇「気持ち」に感謝、「真心」に感謝です。

昨年度は、歴史的な雪不足という言葉が聞かれるほど、降雪が少なかったのですが、今年度はすごいですね。一日で、たくさんの雪が積もってしまいます。

楡原小学校では、給食、牛乳の運搬が、校舎の北側を通り、西側から搬入されています。大雪の時は、その通路が雪で埋まってしまい、トラックが通れなくなってしまいます。



普段は、我々職員が朝、除雪をするのですが、例えば先日の週末の大雪の時は、人の手だけではどうしても無理な場合もあります。「さあ、どうしようか」と困っていた時、私たちを助けていただいたのが、マルヨ建匠代表取締役の渡部 一さんです。「やってやるよ。気持ちだよ!」と、朝、重機できれいに除雪をしていただきました。こんなことが、これまで4回ほどあります。

一さんの母校を愛する気持ち、子どもたちの給食が安全に届けられるようにという気持ち、その心意気、ボランティアの優しい、柔らかいお心に、本当に感謝しております。ついでに・・・ということで、校庭に雪の山も作っていただきました。子どもたちは大喜び。休み時間になると、たくさん子どもたちが、雪山に登ったり、滑って降りたりして楽しんでます。

「人の気持ち」って、本当に大切なんだな・・・一さんの献身的な姿にあらためて痛感しております。

### 校長のひとりごと

いよいよ3学期が始まったと思いきや、もう2月となってしまいました。本当に「1月は行く」でしたね。来週の月曜日から数えると、今年度の子どもたちの登校日は30日です。「2月は逃げる」と言われます。逃げていくように早く感じられるという意味ですが、逃げていくのではなく、追いかけていくという気持ちで、生活をしたいものです。コロナウイルス感染対策についても、県の緊急対策期間が延長となりました。不要不急の外出自粛などが全県民に継続して要請となっています。『今』が重要な時ですね。

